



東俣野特別支援学校

電話 045-851-9631 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/higashimatano/>

「 1人の生徒との巡り合わせから 」

副校長 大久保 彰浩

今から30数年前の話。私が初任で着任した横浜市立の某中学校。1学年10学級以上あるマンモス校で、当時は学校が荒れていた時代の真っ只中でした。「対教師〇〇」や「校内〇〇」の言葉を聞かない日がなかったほど、その対応で奮闘していたことを覚えています。

着任して4年目の春、1学年の担当となり400人程の新入生の中に、ある1人の生徒がいました。彼は、日常生活全般（移動、着替、食事、排泄など）において支援が必要な生徒で、本来であれば当時の特殊教育（現在は特別支援教育）が適当であったのですが、保護者の根強い希望で一般級（この当時は40人学級で担任は1人）への入学でした。入学初年度はベテランの教諭が彼のいる学級の担任となりました。1年が過ぎ、2年生になった彼は、私が担任をする学級の1人となりました。最初の頃は、生徒達も荷物を持ってくれたり、声をかけてくれたりと温かさを感じる学級でした。並行して、学年主任や保護者を交えて何度も相談を繰り返す日々、さらに指導主事が来校した際には、直接、話をする時間をいただきました。季節の経過とともに「高校進学」を意識し始める現実が迫ってくると、学級内の生徒達は自分自身のことではいっばいになり、余裕がなくなっていく様子がひしひしと感じられました。それは勿論当然なことです。その影響や中2という多感な時期とも重なり、徐々に学級の雰囲気違和感が出始めてしまいました。私は、生徒指導上の対応をしつつ、毎日の授業や学級経営を行い、そして彼の学校生活全般に対応する日々に追われていました。「彼にとって本当にこれでいいのか」と悩む毎日でした。中学校生活の3年間は彼にとって本当に有効だったのかは、今でもわかりません。その彼も中学卒業を迎えることができましたが、高校への進学は叶うことはありませんでした。私はこの時を境に中学校から某養護学校へ異動し、その後多くの特別支援学校を経験しながら、今日（こんにち）まで障害児教育に携わる道を歩んできています。

その彼は今では40歳代半ば。どこかで元気に過ごしていることと願っています。

🦀 7月の行事予定 🦀

日	曜	行事	下校	PTA
1	金		14:30	IDD座談会
2	土			
3	日			
4	月	体重測定1組	14:30	実行委員会
5	火	介護等体験① リハ科 体重測定2組	14:30	
6	水	介護等体験② 集会 体重測定3組	◎13:45	
7	木		14:30	
8	金		14:30	
9	土	土曜日参観	14:30	
10	日			
11	月	振替休日		
12	火	歯科巡回指導	14:30	定例会 神肢P
13	水		14:30	
14	木	合同音楽（弘済会コンサート）	◎13:45	
15	金	神経内科	14:30	
16	土			
17	日			
18	月	海の日		
19	火		14:30	
20	水		14:30	PTA交流会
21	木		14:30	
22	金	*給食終了	◎13:45	
23	土	夏季休業開始 ~ 8/24		
24	日			
25	月			
26	火			
27	水			
28	木			
29	金			
30	土			
31	日			

- 7/9（土）は土曜日参観です。参観は10時～11時30分で今年度は各家庭1名でお願いします。詳細は別紙お知らせにてご確認ください。
- 7/6（水）・14（木）・22（金）は下校時刻が13時45分となります。
- 7/14（木）に合同音楽でコンサート鑑賞があります。
- 夏季休業は7/23（土）から8/24（水）の期間です。なお、8/3（水）から8/16（火）は閉庁日となります。
- スクールバス介助員の離任がございました。（本郷便）